

Rotary



白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

創立 1986 年

2019～2020年度クラブ目標

『共に手をつなごう
ロータリーのもとで』

会長 中目 公英
幹事 兼子 英聡



ロータリーは
世界をつなぐ

2019～2020年度国際ロータリーテーマ

第1595回例会

令和元年 8月22日 (18:30～19:30)



CKB参加者



CKB開会式

○ソング

- 我等の生業

○スマイルBOX

- 中目公英会長（CKB〈チャレンジケンナンベースボール〉中学校野球大会の実行委員会より、青木哲也実行委員長、高山運営部長、鹿島競技部長のお三方にお越しいただき、ありがとうございます。大会の成功に向けて、一緒にガンバリましょう。）
- 永野文雄会員（CKB野球大会の先生方、ようこそおいで下さいました。土・日曜日の大会の成功をお祈りします。ご準備ありがとうございました。）
- 前原俊治会員（CKB野球大会の開催をお祝いします。天気がいいとよいですね。）
- 居川孝男会員（CKBのみなさんようこそ！休みが続き申し訳ありません。）
- 小林仁一会員（クラブ協議会、出席出来なくて申し訳ありませんでした。お詫びにスマイルします。）

▶第1595回例会出席状況

(R元年 8月22日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	44名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	58名
Ⓒ ①の出席者数	27名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓕ ②の出席者数	6名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	33名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	53
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	62.26%

▶例会日：第1・第3木曜日(12:30) その他の木曜日(18:30～19:30)

▶例会場：白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局：〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間



中目公英会長

皆さん、こんばんは。お盆休みが明けまして、ロータリーの例会一週飛んで二週間ぶりの例会となります。皆さん、お盆休み楽しくお過ごしになったでしょうか。今日は我がクラブ青少年奉仕委員会担当の今週末8月24日25日に執り行われますCKB、チャレンジ県南ベースボールフェスティバル、チャレンジ県南ベースボール中学校野球大会の事前の打ち合わせの例会となっております。そして、そのためにお客様といたしましてCKBの実行委員会から実行委員会の青木哲也先生。そして、運営部長さんの高山正康先生。それから、競技部長さんの鹿島史弘先生。お三方の実行委員会の幹部の方々にご参加いただいております。担当例会の中で今週末のCKBにつきましていろいろご説明があります。我がクラブの皆さん方、今年度の白河西ロータリークラブの奉仕プロジェクトとして大きい事業になりますので、是非皆さんご参加ご協力いただければ大変ありがたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。さて、お盆明けの一週目ですから皆さん方もまだお盆休みの気持ちが残っているかもしれませんので、今日は少しロータリー情報をお話をさせていただければと思っております。このCKB、私たちのクラブでは青少年奉仕委員会が担当となっております。ただ、今国際ロータリーの考え方はルール変わっておりまして、ちょっと現在我がクラブの在り方と少しそぐわないようなところもございます。その変遷につきまして少しお話をいたします。現在、ロータリークラブの活動で大きいのは五大奉仕部門といいます。クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、そして青少年奉仕といます。ただ、これはつい最近できた五大部門です。2000年代の初めまでは、ロータリーは四大奉仕とっていました。クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、この4つしかありませんでした。青少年に関することは通常は青少年交換留学生。つまり、外国の子供たちと日本の子供たちをお互いに交換しましょうということがロータリーの活動のメインでしたから、青少年活動に関しましてはその四大部門の国際奉仕委員会の下部組織として青少年事業がありました。もっぱら青少年交換留学生をお互い事業としましょうというのがロータリーの活動でした。そのために青少年交換留学生を我がクラブでも一時期やっていましたがやらなくなったのですから、そこで青少年育成という考え方が出てきて、依然として国際奉仕委員会の下でありました。ただ、国際ロータリー現在考え方が変わりまして、2004年から皆さん方ロータリー歴の長い方々はご記憶があるかと思いますが、急に新世代委員会とかいう委員会ができ、それで新世代奉仕委員会とかというのできて、これがまだ四大部門から五大部門にまだ代わらないうちでしたけど、何年間か新世代奉仕委員会というのできて、これが今やっ

ている、インターアクト、ローターアクト、RYLA、そして青少年交換留学生等々、あとGSEとかいう活動をするような形になってきました。そして、今度さらにもう一回変遷をしまして、ロータリーは五大部門になりまして、新世代奉仕という名前から今度、青少年奉仕という名前になりました。国際奉仕委員会の下にあった青少年交換留学生という事業は青少年奉仕委員会が担当するようになっていくわけでありまして。しかも、大変珍しいことに青少年奉仕委員会は国際ロータリーがこういう事業をやりなさいというふうに指定をしています。今程言いましたようにインターアクトクラブを作ってください。インターアクトクラブの活動をしてください。ローターアクトクラブを作ってください。ローターアクトクラブ活動をしてください。皆さんのクラブ全部で青少年交換留学生をしてください。できない時には他のクラブと共同でやってください。それにRYLAには必ず一人出してやってくださいというふうに、事業が指定されているようなのが青少年奉仕委員会です。ですから、我がクラブでやっている青少年育成みたいな事業は今の国際ロータリーの活動的というと社会奉仕委員会担当になるほうが実は普通なのかもしれません。ただ、現在私たちのクラブはまだそういうふうなところまで組織を変えていませんから、現在青少年奉仕委員会のほうで担当していると。そのような変遷のもとにありまして、目下宮本先生のほうに我がクラブの定款は所在地と名前だけですからあつという間にできるんですけれども、細則のほうに大変ご苦勞していただきながら、国際ロータリーの流れに合うような形プラス白河西ロータリークラブの歴史的な活動のことも加味しながら細則のほうを今現在考えていただいているということでありまして。来年以降、もしかすると青少年奉仕担当から社会奉仕担当のほうにこのCKBの事業そのものが移行する可能性も実はあるんだということをご理解をいただければと思っております。ただ、この青少年奉仕委員会の事業そのものの意義は今までと変わらず立派な事業ですから、是非今年にもぎやかにCKB活動を手助けをしていってこの地方から中学校でいうならば中体連の全国大会に出場するような選手、プロ野球選手になるような選手、メジャーリーグに行くような選手を輩出し、ゆくゆくは私たちの地元に錦を飾って戻ってきて、矢吹でやっている中畑杯みたいなことをまさに県南の白河地域でもできるような、そういうふうな人材が育ってくれるような長期のスパンでの子供たちの育成というのを考える大変有意義な事業だと思いますから、是非今週末の事業には皆さん方のご協力を重ねてお願いいたします。

■幹事報告

堀田一彦副幹事



- 大船渡ロータリークラブ：大船渡RC創立60周年記念式典のご案内
- ロータリー日本財団：年次基金への1000ドル寄付の寄付明細
- 白河市国際交流協会：2019「はじめてのフランス語講座」の開催について

- 白河赤十字奉仕団：賛助金の御礼
- 白河南RC：週報
- 白河市長：後援等承認通知書
- 2019-20年度ガバナーエレクト：ガバナーエレクト事務所開設披露式の申込について

■委員会報告

○親睦委員会

須藤正樹委員長



こんばんは。親睦委員からホームミーティングのご案内を申し上げます。その前に、いつもよりだいぶ遅れてしまいました。皆さんに申し訳ないと思います。期間が令和元年8月23日から令和元年9月11日の間です。テーマとしましては、新入会員の勧誘方法とか、あと新入会員を紹介してもらってそれを高島委員長にご報告するというふうな感じでテーマ1はしたいなと思います。テーマ2、楽しい例会にするにはというのも皆で考えてもらえればと考えています。報告会が9月12日木曜日と9月19日木曜日となっております。あとは各班で調整をお願いします。あとこのホームミーティングやっている写真を書記の方が何枚か撮って、それを報告してもらえればと思います。

○青少年奉仕委員会

村上堅二委員長



皆さん、おばんでございます。CKB大会、今週の土日となりました。詳しい内容をもう一度明日ファックスを入れてさせていただきますけども、集合時間等々、皆さんの集合時間は6時50分、24日の土曜日です、6時50分。会場は泉崎のさつき公園のほうになります。地図のほうは今回渡してあるプログラムの33ページのほうにありますので、そちらのさつき公園のほうにお越しいただければよろしいかと思っておりますのでよろしくお願いいたします。駐車場がちょっと今回いろんな大会重なってまして、少ない場合には途中で野球場の入り口を入った所の右側に広場を確保してもらいましたので、そちらのほうにも置けますので、もし駐車場に車が置けなさそうだったらそちらのほうに回していただければと思います。そして、その日は開会式をやっていただいて始球式が9時半から。これは吉野さんのほうからよろしくお願いいたします。そして、翌日曜日閉会式のほうそちらのほう3時予定をしておりますので、2時30分に同じようにさつき球場のほうにご集合いただけるようお願いいたします。中学生のこういった大きな大会なかなかありませんので、是非皆さん見ていただいて参加していただけることよろしくお願いいたします。

■本日のプログラム

CKB野球例会

○青少年奉仕委員会

村上堅二委員長

本日の例会プログラムとして今回はCKB実行委員長の

青木先生、そして高山先生と鹿島先生にお越しいただいています。お忙しい中今日は本当にありがとうございます。今回CKBのほうですけども6回目という形になるんですけども、参加者のほうが子供たちのほうが360名来てるんですね。親御さんから合わせるとやはり1000名以上人数が集まる大会となっております。先程もお話しましたが開会式としては多分県内で一番大きな中学校の開会式になります。約25チーム総勢あがってきますので非常に盛大なものになります。プラスバンドも入って、あと松本知華先生のほうの国歌斉唱もありますので、そういった意味では本当に甲子園を彷彿させるような大会となっておりますので、是非皆さんご参加のほどお願いしたいと思います。本日は青木先生のほうから卓話を頂戴したいと思いますので、青木先生よろしくお願いたします。高山先生も鹿島先生もよろしくお願いたします。

○東中学校 CKB野球大会実行委員長

青木哲也様



それでは、改めましてこんばんは。毎年毎年、この場に來させていただいてこういうお話をさせていただけるのは本当にありがたく思っております。中体連の委員長とCKBの実行委員長を務めさせていただいております東中学校の野球部顧問の青木と申します。よろしくお願いいたします。CKB大会本当に今回6回目ということで、去年節目の記念大会ということで、それ以上の今度は10回に向かってさらに先生方と選手と皆で一致団結して頑張っていこうというような形でスタートまた活動準備させていただいております。地元の吹奏楽部、うちの学校の吹奏楽部の子どもたちも夏休み合唱の練習、自分たちのコンクールの練習、その次に今回の入場行進の練習ということで、ほぼほぼ朝練の合唱の練習から3時までの野球の吹奏楽の演奏まで毎日本当に頑張って練習をしております。今日も自分学校を出て来る時は「栄冠は君に輝く」を聞きながら出させてもらったという感じで、非常にありがたいなと思っていました。また、昨年まで国歌斉唱を歌っておりました松本知華なんですが、今回の人事異動により川内中学校のほうに移動になったんです。ただ、もしそういう出番があればやらせてほしいというふうな声掛けをもらいまして、結果的にまた今回も松本知華のほう川内からやってまいりまして歌と国歌斉唱と、あと夜の懇親会のほうもちょっと演奏等やってくれるというようなことになりました。そういったことで本当にいろんな人に野球関係以外の吹奏楽や松本のような人間にも末永く付き合ってもらってやれていること。その根底にあるのは、やはりこうやってロータリー様の献身的なご尽力があって、予算的なものも補助していただいているということ。そして、立派な何十年も使えるような見事な優勝旗を自分たちの組織に作っていただいたというところから、これは本当に頑張らなければいけないという背筋が引き締まる思いでこの8月の時期というのは過ごしております。今年度から夏休みが1週間早まりまして今学校始まっているんで

すが、例年ですと夏休みの最後の土日ということである程度準備も時間をめいいっぱい取れてやれてる部分があって、ただ抜けのないようにということではやっていようとは思いますが、最後、今日明日の準備のほうで抜かりのないように頑張っていきたいと思っております。そして、本当にその後ろ支えをしてくださっている逗子開成中学のキャップであります榮先生のご尽力というのが、本当に6年も続いているというのがまずは本当にありがたい話なんです。今回、全南の県南のうちの野球選抜チームのほうも全国大会の切符をとらせてもらって、県で勝たせてもらって、南東北で勝たせてもらって、横浜スタジアムで今回8月12日やってまいりました。九州の学校、日章学園に負けてしまったんですが、その際にも決まった瞬間に電話をいただいて、人工芝のグラウンドだから、逗子開成のグラウンド人工芝なのでうちはお盆中でも学校自分は開けられるので、是非グラウンドに慣れてボールに慣れてもらいたいから是非来てくださいというお言葉をいただいて、そんな中で前日の練習も逗子開成のグラウンドでやらせてもらいました。横浜スタジアムは本当に圧迫感のある球場で、逗子開成さんのグラウンドも校舎に囲まれた圧迫感のある雰囲気、本当にそういう意味ではゴロもそうなんですが、フライの感覚もいち早く慣れていい形で試合に臨めたというのもありました。そんなこんなでいろいろ支えていただけて自分たちがこうやって好きな野球を柱に仕事させていただけるのはありがたい話だなと思っております。ロータリー様のご協力にそれが倍返し三倍四倍というふうなぐらいの気持ちで頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。プログラムにも記載させていただきましたが、今回神奈川県の高校野球の地区予選が200弱あるんですが、その中でくじでほんといいたのが毎年来てくださっている逗子開成中学校と湘南学園の高校の部だったんです。その学校はどちらもエスカレーターなので、生粋の湘南学園中と逗子開成中の野球部あがりということで、さつき球場でお互いに開会式に出たメンバーが小田原球場で戦いをしたということで、本当にもう感慨深い地元の県南の先生方としては大いに盛り上がらせていただきました。そんな付き合いをさせていただいて、そんな素敵な時間を提供してくださっている西ロータリー様の皆様に何とか良い恩返しができるよう今後も頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。今日はありがとうございました。

○東北中学校 C K B 野球大会運営部長 高山正康様

こんばんは。C K B の運営部長を務めています、白河市立東北中学校野球部顧問の高山と申します。よろしくお願いいたします。第5回の運営のほうから自分はこちらの運営部長ということでやらせていただけて、沢山の皆さまに支えられて大会が成立していることにありがたく思います。その中でもロータリークラブの皆さまには、大会のほうの運営にあたっては沢山ご協力い

ただいて感謝しています。子供たちにとって8月の最後の週、最後の土日のこの大会は先程青木先生からもあったように、本当だったらいつも一週間夏休みが続いているので、夏休み最後の大会ということで子供たちはいつも楽しみにこの大会を待っています。行進から始まって、なかなか行進から始まる大会というのは中体連でも県大会くらいからしかなくて、子供たちにとって甲子園と同じように行進してグラウンドを回って開会式を迎えるということはなかなかないので、この大会はありがたいなというふうに思っています。東北中の子供たちもこのC K B大会楽しみにしてしまっていて、夏休み、今始まっているんですが最後の夏の思い出として、遠く神奈川から逗子開成さんや湘南学園さんも迎え入れて大会ができ、野球をやっている子供たちが徐々に少なくなって連合チームも増えている中なんですけども、野球を通してほかの地区で頑張っている、ほかの県で頑張っている子たちと触れ合うというのがなかなかないので、すごく大事な大会だなというふうにいつも感じています。自分のほうも運営ということで頑張っていきますが、至らないところもあってご迷惑をかけるかもしれませんが頑張っていきます。子供たちも一生懸命新チームになって初めてなので試合の中で失敗もあるんですが、次の新人戦に向けての本当に大事な一個の大きな大会になっていますので全力でプレーしていきますので、是非開会式もそうですが野球のほうも見ていただければありがたいと思います。本当に土日のC K B大会、よろしくお願いいたします。

○白河南中学校 C K B 野球大会競技部長 鹿島史弘様



こんばんは。鹿島史弘と申します。白河南中学校に所属しております。この度はC K B大会の競技部長を務めさせていただきます。私は県南地区に赴任しまして4年目になります。C K B大会でいきますと第3回目からの参加というか運営に携わらせていただいております。その度にいつも思うんですけれども、やはり県南地区の子供たちの中体連が終わって新チームになって夏休みの練習の成果を発揮する大会になるわけですが、それでもこう一番どの大会と比べても規模が大きくて、先程も何度もございましたが開会式から盛大に盛り上がり、夜宿泊をして次の日もたとえ負けてしまったとしても負けてしまったチーム同士でしのぎ合う、そういった非常に大規模な大会なんだなというふうに考えております。どの大会ももちろん盛り上がるんですが、特にC K Bは全教員と県南地区の全部の子供たちが集まって大会を行う。そういう素晴らしい大会なんだなと感じております。私は今回は白河南中学校の監督として出るわけなんですけれども、今回は青木先生がいらっしゃる白河東中学校と塙中学校の3校の合同チームで出るようになってしまいました。メンバーがやはり少なくどこの中学校さんも大変なんですけども、9人割ってしまったのでチーム同士で集まって出ようというふうな状況になっております。それでも3校で力を合わせて合同チームとして参加できるということは、新チームに

なった子供たちにとっても非常に勉強になるんじゃないかなと思っております。去年なんです私が応援上の注意ということで、ちょっと余興というかそれをやらせていただきました。あんまり盛り上がりなかったかなと思ってはいるんですけども、残念ながら今年は私は初日はちょっと参加できずに代わりに四家賢一先生という中島中の先生がその応援上の注意をしていただくということで、そういったバリエーションも豊富な大会で、今年もそういったところでの楽しみもあるんじゃないかなというふうに考えております。先程もありましたが、逗子開成中学校さんと湘南学園中学校さんもいらっしゃってこの大会に参加してくださいということなんですけども、やはり私が言うのもなんなんですけど、原発事故以来の風評被害等があってもそんなの関係ないよということで、この福島の地まで参加して下さるそういった関東地区のチームがいるんだということは、我々にとってもすごく嬉しいことなのかなというふうに感じております。また、お互いに福島の我々のほうが神奈川県の出向いて練習であるとか練習ゲームであるとかいうものも毎年やらせていただいております。県を超えたそういった切磋琢磨した関係というのがずっと繋がっているというのも、このCKB大会のおかげであるのかなと感じております。是非楽しみにしてほしいなと思うんですけども、どのチームが優勝してもおかしくないようなそういった大会であります。まだ暑さが残る中で苦しい環境の中で試合をするようになると思うんですけども、それでも負けずの頑張るんだという気持ちが伝わって、これからの新チームの新しい出発にふさわしい大会になるんじゃないかなというふうに思っております。このような大会に私も運営に携わることができて非常に嬉しいと思います。できれば人事異動をしないで、ずっと県南の野球に携わってほしいなというように思いも常日頃思っています。県南大好きで初めて教員になって来た所なんですけども、白河というところも非常に住みやすく、人事異動してももう一回戻ってきたいなんて思うような所であるんですけども、やはりそれ程ほかの地区にはないような大会でもあるなと感じております。今週の土曜日から日曜日、是非楽しみにして大成功していきたく思いますのでよろしく願いいたします。

○第1回大会時会長

前原俊治会員



第1回の開催した時の会長をやっておりました前原でございます。まあちょっとその時の裏話というか、その辺をちょっとお話ししたいと思います。今年6回目ということなんですけど、多分初めの1回目は私が会長の時で初めは企画に載ってなかったんですね。7月頃ですかね、今度県南地区でこういう野球大会があるということで聞きまして、8月にも始まるということで時間もあまりなかったんですけど、是非西ロータリーでも野球クラブがありますし、非常にマッチするんじゃないかなということで、是非やりたいという

ふうに思いまして、その当時の青少年委員会の委員長でありましたのが成井さんで、成井さんのほうにこういう大会があるので是非やりたいということでお話ししたら、成井さんのほうでもいいんじゃないか、是非やりたいということで話がまとまったわけですね。ただ、時間がなかったものですから先生のほうは大体いろんな面で話が決まっていたんですけど急遽ということでして。是非やりたいということで理事会のほうにはかかったんですね。それで皆さん賛成してくれるのかなと思ったら、思いのほか反対意見が出まして、普通会長が提案すると大体皆さん満場一致なんですけど、その時はなぜか反対が出たんですね。私の会長の時もほとんどは満場一致で、しゃんしゃんの理事会だったんですけど、その時は非常に紛糾しまして私は是非やりたいと、ただそういうものはロータリーには合わないんじゃないかという意見もありまして非常に紛糾しました。その時は例会の前に理事会があったんですけど、その当時阿部幹事のほうからもうそろそろ例会が始まりますからということでお話しをしまして、最終的には取り合えず今回1回だけはやってみようということで決まりました。それで次年度以降はやるかやらないかわからないけど、今年だけはやろうということで開催がされました。それで、いざこの野球大会が始まりましたら、先程もお話ありましたように素晴らしい、特に開会式ですね。私も見まして本当に甲子園の入場式と同じくらいの規模の開会式がありまして、非常に私自身も感動しました。多分、そういうことも私以外の会員の方も何名か来てましたので、その様子を見て非常に良いもんだなということを感じたのかなと思ってます。それで、その年終わりにまして今年一年で終わるのかなと思ったんですけど、そういう素晴らしい大会が行われたことによって次年度以降も行うということになりました。2回目からは正式の野球大会ということで開催されまして、いろいろとそれ以降の会長さんの努力によりまして立派な優勝旗もできてまして。私もこのCKBに対しては非常に思い入れのある大会でございます。そういうことで、ロータリーのほうも一応共催という形でやっておりますけど、やはり一番は野球部の先生方が中心になって一生懸命やっただいただいているのが一番この大会が盛り上がる原因かなと思っております。そういうことで、これからも是非ずっとこの大会が続けばいいかなと思っております。以上でございます。



第6回白河西ロータリークラブ旗争奪 チャレンジケンナンバーズボールフェスティバル

8月24日(土)・25日(日) 泉崎さつき球場



第6回大会 優勝・準優勝・3位チーム